

## Tenable、Microsoft Azure を統合し企業のクラウド環境を保護

※本リリースは米国で発表されたプレスリリースの抄訳版です。原文は下記 URL を参照ください。

<https://www.tenable.com/press-releases/tenable-to-secure-enterprise-cloud-environments-with-microsoft-azure-integration>

サイバー・エクスポージャーを提唱する Tenable®、Inc.（以下テナブル。所在地：メリーランド州コロンビア、代表：Amit Yoran（アミット・ヨーラン））は本日、ダイナミックに変化するクラウド環境を保護するために、クラウドでの脆弱性管理向けの Tenable.io®と Microsoft の新しい Azure Security Center API を統合することを発表しました。この双方向の統合は、クラウドベースの資産全体の Cyber Exposure に関する総合的なシングルビューを共同顧客に提供します。Tenable は Microsoft と提携し、組織がクラウドの強みを効果的に生かしながらも、ビジネスへのリスクを最小化できるようサポートします。

Tenable.io は Azure からクラウド資産データを自動的にインポートし、脆弱性の有無を評価し、Azure Security Center に結果を送信して修復を仰ぎます。これにより、クラウド資産のサイバーリスクの管理、測定、および軽減のスピードと効率を高めることができます。

「Tenable は、組織がクラウドを安全に活用できるようサポートするソリューションを提供すべく全力を挙げて取り組んでいます」と語るのは、Tenable の Technical Alliances 部門シニア・バイス・プレジデントの Ray Komar 氏です。「我々が業界をリードする Microsoft のような企業と提携し、顧客がクラウドの恩恵を最大限享受しながらも、組織のダイナミックな環境において Cyber Exposure ギャップを埋められるようサポートする理由はここにあります。」

「今回、Azure Security Center を統合する最初のパートナーとして Tenable と提携し、顧客のダイナミックな環境においてクラウドセキュリティ管理を改善できるようサポートできることを嬉しく思います」と Microsoft Corp.、Azure Security 部門シニア・ディレクターの Scott Woodgate 氏は話します。

Tenable のプラットフォームは、Tenable Cyber Exposure プラットフォームの核となるコンポーネントであり、IT、クラウド、IoT および OT 環境にわたってサイバーリスクに対する広範な可視性と、サイバーリスクをビジネス用語で測定・伝達するための深いアナリティクスを提供し、よりの確な戦略的意思決定をサポートします。

今回の統合の詳細については、<https://jp.tenable.com/partners/technology> をご覧ください。

## ■Tenable について

Tenable®, Inc.は、Cyber Exposure のソリューションを提供する会社です。世界中の 27,000 以上の組織がサイバーリスクを正確に把握し、低減するために Tenable を採用しています。Nessus®の開発者である Tenable は、脆弱性に対する専門性をさらに広げ、あらゆる情報資産やデバイスの脆弱性を管理、保護できる世界初のセキュリティプラットフォーム「Tenable.io®」を展開しています。Tenable のお客様には、Fortune 500 の半数以上の企業、Global 2000 の 25%以上、大規模な政府機関組織などが含まれています。詳しくは、[tenable.com](https://tenable.com) をご覧ください。

### 【米国テナブル社企業概要】

商号： Tenable Network Security

代表： Amit Yoran アミット・ヨーラン

住所： 7021 Columbia,  
Gateway Drive Suite 500 Columbia,  
MD 21046

### 【テナブル社企業概要】

商号： Tenable Network Security Japan K.K.

住所： 東京都千代田区丸の内 1-6-5  
丸の内北口ビルディング 9 階